

# コープみえ事業所

(2019年6月現在)

配送センター (9カ所) 店舗 (2カ所)、本部 (1カ所)、福祉サービスセンター松阪 (1カ所)

## 「コープみえ事業所」紹介

### 共同購入事業

毎週1回、決まった曜日に指定された場所にお届けしています。商品の受取方法は、くらしに合わせて、グループ購入、コープ宅配、ステーション購入から選んでいただけます。商品の主な仕入先は東海の3生協(コープあいち、コープぎふ、コープみえ)で作る東海コープ事業連合です。

### 店舗事業

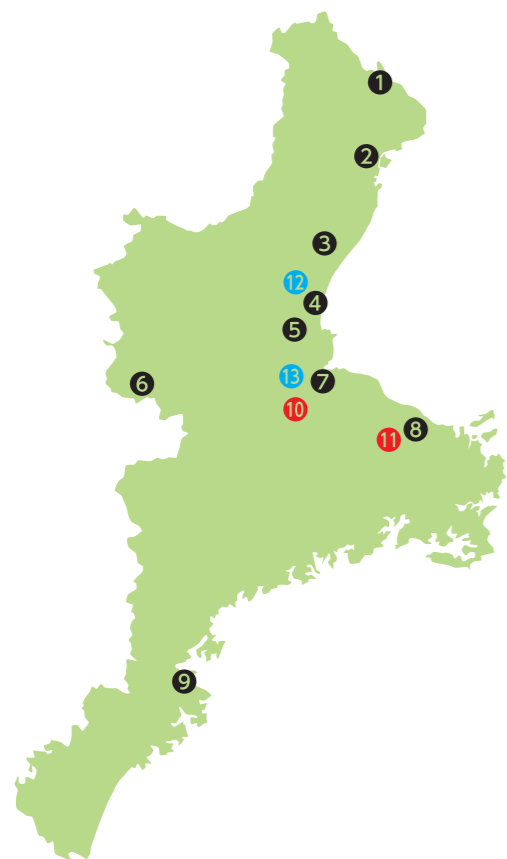
みやがわ店(伊勢市)とまつさか店(松阪市)の2店舗があります。組合員にとって必要なお店、私のお店と思ってもらえる店づくりをすすめています。

### 福祉事業

「安心」「笑顔」「健やか」「想い」「共有」を大切に、利用者一人ひとりに合った自立をめざしたサービス提供に心がけ、福祉サービスをすすめています。

### くらしの事業

くらしの事業部は、夕食宅配、葬祭、宅配灯油、共済、すまいの事業などをすすめています。



## 〈配送センター 9カ所〉



- ①桑名センター
- ②四日市センター
- ③鈴鹿センター
- ④津宅配センター
- ⑤津南センター
- ⑥伊賀センター
- ⑦松阪センター
- ⑧伊勢センター
- ⑨紀北センター

## 〈店舗 2カ所〉



- ⑩まつさか店
- ⑪みやがわ店



- ⑫コープみえ 本部



- ⑬福祉サービスセンター松阪

## 「関連組織」紹介

### 生活協同組合連合会 東海コープ事業連合

東海3生協(コープあいち、コープぎふ、コープみえ)が出資し、会員単協の商品、物流、情報システム等を合同し、事業を推進しています。

### 株式会社 東海コープ安全運転センター

東海3生協、東海コープ事業連合が出資し、損害保険代理事業、生命保険募集に関わる業務、運転実技研修の実施、教材の企画制作、運転教育に関わる受託業務等を行っています。

### 株式会社 スマイルサービスみえ

コープみえの子会社として、施設・設備の保守・管理・清掃業務、物流センターの管理業務、便利屋事業等を行っています。



資源や環境に配慮して、エコインキと再生紙を使用しています。  
このCSRレポートは、カーボンオフセットされています。  
☆CSRレポート1部のCO2排出量は約266gです。



2019年CSRレポート コープみえ

発行月: 2019年6月

お問い合わせ先

〒514-0009

三重県津市羽所町379番地

生活協同組合コープみえ 機関運営部

TEL 059-271-8507 FAX 059-222-5217

ホームページ <http://www.coop-mie.jp/>

コープみえ 検索



コープみえキャラクター  
みえっぴい



## もくじ

- ◆持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方の見直し活動・・・P4～6
- ◆地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーの利用・普及活動・・・P7～8
- ◆世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動の推進・・・P9
- ◆核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動の推進・・・P10
- ◆ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりの推進・・・P11
- ◆誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりへの参加・・・P12～15
- ◆健康づくりの取り組みをひろげ、福祉事業・助け合い活動の推進・・・P16
- ◆ISOの取り組み、コープみえの内部統制システム・・・P17
- ◆CSRレポート第三者意見・・・P18

## 編集方針

コープみえの事業・組織、組合員活動、社会貢献活動・環境の取り組みについて報告しています。  
報告対象期間を2018年3月21日から2019年3月20日の期間とし、コープみえの活動のほか、関連する東海コープ事業連合の活動、情報を含んでいます。



## CSRレポートの発行にあたって

平素より格別のご愛顧を賜り、厚くお礼を申し上げます。

関係者の皆様にこのCSRレポートを通して、コープみえの1年間の社会的な活動についてご報告いたします。

2018年度は、自然災害や社会的な課題に向き合った一年となりました。

7月の西日本豪雨では緊急支援募金に組合員みなんで取り組み約755万円、9月の北海道胆振東部地震には約510万円もの善意の支援を集め、日本生協連を通じて被災地にお届けいたしました。

また、憲法改定の懸念が高まる中、憲法講演会を開催し平和主義の大切さを改めて学び、格差や貧困については、子ども食堂やフードドライブなどの取り組みとの連携、見守り協定の締結や災害時の支援協力に関する協定の締結を通じて市町や社会福祉協議会など地域のみなさんとのつながりを深めてきました。

コープみえは「つながりあう安心 笑顔が輝く 暮らし」の基本理念のもと、組合員の出資・利用・運営により成り立ち、組合員の暮らしの向上をめざしている組織です。同時に地域の一員として、これからも平和で安心して暮らせる地域づくりのために社会的な役割を果たし、人と人とのつながりを実感できる様々な課題に取り組んでまいります。

国連は2015年に「持続可能な開発目標（SDGs）」を採択しました。SDGsは国と国どうしの取り決めという枠を超え、地球上のすべての人を対象とした共通目標と受け止められています。「誰一人取り残さない社会の実現」を目指し、経済・社会・環境などの課題に取り組むことは、私たちの理念と大きく重なりあっています。

私たちはその一翼が担えるよう貢献してまいります。

引き続き、みなさまのご指導ご援助をお願いして、発行にあたっての挨拶とさせていただきます。

2019年6月  
生活協同組合コープみえ  
にしかわ こうき  
理事長 西川 幸城



みんなの願い  
基本理念

## 「つながりあう安心、笑顔が輝く 暮らし」

～人が地域で協同する暮らしづくりをすすめ、平和な社会を未来に引き継いでいきます～

## 2020年に実現していきたい姿

地域と協同して、  
生協に期待される  
社会的役割を  
担っている姿

食と暮らしに  
貢献している姿

人と人との  
つながりあっている  
ことが実感できる姿

## 組織の概況 (2019年3月20日現在)

■名称:生活協同組合コープみえ  
■設立:2003年3月21日  
■本部所在地:〒514-0009  
三重県津市羽所町379番地  
TEL 059-271-8500(代表)  
http://www.coop-mie.jp  
■事業エリア:三重県一円

■組合員数:193,001人  
■出資金(1口千円):40億9,192万円  
■加入率:26.0%

■役員:理事23人 監事5人  
理事長 西川幸城  
専務理事 鈴木稔彦  
■職員数(出向者含む):ゼネラル 255人  
ジョブ 259人  
■子会社  
スマイルサービスみえ:  
事業高1億5,273万円 (1月末現在)

## 経営状況 2018年3月21日～2019年3月20日 (単位:千円)

■総事業高: 209億8,083万円	■福祉事業収入: 2,988万円	■事業総剰余金: 48億7,021万円
■供給高合計: 203億7,086万円	■その他事業収入: 5億6,313万円	■事業経費: 44億7,342万円
■利用事業収入: 1,694万円		■事業剰余金: 3億9,679万円
		■経常剰余金: 4億4,433万円

## 事業所・事業内容

■共同購入事業9センター:桑名、四日市、鈴鹿、津宅配、津南、松阪、紀北、伊勢、伊賀  
■ステーション:全県34カ所  
■店舗事業 2店舗:まつさか店(松阪市)、みやがわ店(伊勢市)  
■福祉事業 1事業所:福祉サービスセンター松阪(松阪市) 事業内容:通所介護事業、居宅介護支援事業、訪問介護事業  
■その他事業:共済事業(受託)、夕食宅配事業、斡旋サービス事業

## コープみえ 環境・品質方針

## 《2019年度基本方針》(一部抜粋)

## 1.事業と経営基盤の強化

共同購入事業、店舗事業、共済事業、福祉事業、生活サービス事業、すまいの事業、暮らしの保障事業、夕食宅配事業など、暮らしに必要な事業を持続し強化します。

## 2.地域づくりと組合員のつながり

組合員どうしのつながり、居場所づくりを組合員の関心に基づきすすめます。行政、地域の諸団体のみなさんといっしょになってよりよい暮らし、地域づくりをそれぞれの地域にあった形ですすめられるようにしていきます。

## 3.誰もがイキイキと能力を発揮し、働きつづけられる安全な職場づくり

ダイバーシティを実現させ、働き甲斐のある職場づくりをすすめます。また「社会に貢献したい・働きたい」という希望が生協で実現できるように制度の充実をすすめるとともに、お互いを認め支え合い、イキイキと働ける職場をめざします。

## 4.SDGs(持続可能な開発目標)の達成にむけて

2020年理念・ビジョンでコープみえがめざす地域社会や暮らしのあり方を一層確かなものにするために、SDGsの目標を意識した活動計画として整理をすすめ、具体的な活動が、世界的な社会の課題の解決のために進捗していることが確認できるようにしていきます。

コープみえは、ISO9001規格(2013年7月18日登録)に則り 組合員満足度を高めること、業務品質の向上をめざして、ISO14001と合わせ品質・環境マネジメントシステムとして運用しています。

コープみえは、2019年度基本方針の4つめの柱に「SDGsの達成に向けて」を位置づけました。コープみえSDGs行動宣言をもとに活動をすすめます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SDGs(エス・ディ・ジーズ)とは、平成27年(2015年)9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ(行動計画)」に記載された、国際的な取組目標である「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)の略です。持続可能な世界を創出するために、2030年までに全ての国や地域で取り組むべき17の目標とそれを達成するための169の具体的な取り組み内容、取り組みの成果を計るための232の指標で構成されています。

17の目標とは

- |                    |                          |                         |
|--------------------|--------------------------|-------------------------|
| 目標1: 貧困をなくそう       | 目標7: エネルギーをみんなに、そしてクリーンに | 目標13: 気候変動に具体的な対策を      |
| 目標2: 飢餓をゼロに        | 目標8: 働きがいも経済成長も          | 目標14: 海の豊かさを守ろう         |
| 目標3: すべての人に健康と福祉を  | 目標9: 産業と技術革新の基盤をつくろう     | 目標15: 陸の豊かさを守ろう         |
| 目標4: 質の高い教育をみんなに   | 目標10: 人や国の不平等をなくそう       | 目標16: 平和と公正をすべての人に      |
| 目標5: ジェンダー平等を実現しよう | 目標11: 住み続けられるまちづくりを      | 目標17: パートナリシップで目標を達成しよう |
| 目標6: 安全な水とトイレを世界中に | 目標12: つくる責任つかう責任         |                         |

### 「コープみえSDGs行動宣言」～SDGsを実現するための7つの取り組み～

#### SDGs(持続可能な開発目標)を組織と地域の中にひろげあい推進します。

私たちコープみえは、「つながりあう安心 笑顔が輝く暮らし」の基本理念のもと、組合員との絆を大切に、地域や行政・諸団体、メーカー・生産者と連携し、これまでSDGsに関わる諸課題に取り組んできました。これまでの運動や活動の価値をみんなで確かめ合い、引き続き協同の力で、持続可能な開発目標(SDGs)の実現に貢献していきます。

#### ①持続可能な生産と消費のために、

##### 商品とくらしのあり方を見直していきます

私たちは、「つくる責任」と「つかう責任」の好循環を発展させ、持続可能な社会づくりをめざします。限りある地球資源へ思いをはせ、産直の取り組みや商品づくりをひろげ、また、学習や交流の活動を通じ、エシカル消費や持続可能な社会に関する理解を促進しあい、私たち自らの消費行動やくらしのあり方を見直ししていきます。

#### ②地球温暖化対策を推進し、再生可能エネルギーを利用・普及します

私たちは、地球の持続可能性を揺るがす気候変動の脅威に対して、意欲的な温室効果ガス削減目標(2030年環境目標)を掲げ、省エネルギーと再生可能エネルギーの導入と利用促進に積極的に取り組みます。また、エコファミリー活動や森の保全活動などの取り組み、森林環境配慮型商品の普及などひろげ、地球温暖化の対策を推進していきます。

#### ③世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動を推進します

私たちは、誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題についての理解を深め、助け合いの精神を貫き、ユニセフの活動やハンガーフリーワールドなどに取り組み、世界の子どもたちを支援します。また、子どもの貧困などについて学び話し合う活動をひろげ、地域と協力して子ども食堂やフードバンクなどの取り組みをすすめます。

#### ④核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動を推進します

私たちは、「核なき世界」の実現をめざし、みんなで手を携えて、核兵器や

戦争のない平和な社会をめざす取り組みをすすめます。ピースアクションなど平和を守る運動をはじめ、次の世代に命の尊さと被ばく・戦争体験を継承し、日本国憲法の基本原則である平和主義のもと世界平和の実現に積極的に貢献します。

#### ⑤ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりを推進します

私たちは、地域における活動を通じて、社会のジェンダー平等と多様な人々が共生できる社会の実現に貢献します。男女共同参画の取り組み、障がい者雇用の促進、ワークライフバランスの促進などはじめ、女性も男性も、誰もが元気にイキキと、生きがいをもって働き続けられる生協づくりをすすめます。

#### ⑥誰もが安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します

私たちは、誰一人残さず、安心してくらし続けられる地域社会づくりに参加します。自治体や諸団体との連携を大切にしつつ、地域の見守りや配食事業、災害時の支援活動など、生協の事業や活動のインフラを活用し、地域における役割発揮をすすめます。

#### ⑦健康づくりの取り組みをひろげ、福祉事業・助け合い活動をすすめます

私たちは、食と健康、人のつながりを大切に、健康づくりの推進と福祉の事業・活動をすすめます。食と健康の学習や健康体操など、より健康な食生活をひろげよう活動を推進します。また、福祉事業や助け合い活動をひろげ、自治体や諸団体と連携し、地域の福祉に貢献していきます。

## 1 持続可能な生産と消費のために、商品とくらしのあり方を見直し活動



産直の取り組みや商品づくりをひろげ、学習や交流活動を行っています。

### メーカー、生産者とのパートナーシップ

#### お米づくり体験「田植体験」「収穫体験」

お米づくりの大切さ、産地米の美味しさを親子で体感する「お米づくり体験」がJA津安芸、JAいがふるさととの協力のもと、それぞれの交流田で毎年、行われています。

田植では、県内各地から親子が参加し、どろんこになりながら一生懸命苗を植えました。また、収穫体験では、5月に植えたバケツ稲の講評をもらい、「上手に育てたね」と褒めていただき、子どもたちは嬉しそうでした。



#### 参加した母親の声

子どもたちが自分で田植をしたことで、これからもお米の大切さを感じてくれたらいいと思います。おにぎりが美味しかった。

### 組合員の商品づくり 商品活動をすすめる会

#### ○みそ焼きうどん(商品改善)

2011年に地元亀山地域の味の商品として開発デビューしましたが、家族で食べる時に、女性や子どもたちから「ピリ辛」という声がありました。「ひろく利用いただけるように少し辛さを抑えていきたい」という意見でまとめ、辛さを抑えて味噌感のある味に改善をすすめました。



#### ○国産とり焼肉(みそ味)(商品開発)

松阪地域のB級グルメとして認知度が高まってきている「鶏焼き肉」を手軽な価格と地元の味で子どもからお年寄りまで味わっていただきたいと、地元メーカーの三昌物産と一緒に商品づくりをすすめました。



### 産地工場見学

#### ○四日市酪農産地工場見学と

コヨットin三重(福島の子どもたちをお招きする保養企画)とのコラボ企画

福島の子どもたちと三重の子どもたちが一緒になって、四日市市ふれあい牧場でクイズラリーとアイスクリーム作りを楽しみました。



#### 職員の声

共同購入事業推進課 加藤利佳

福島から来てくださったご家族も、三重から参加されたご家族も一緒になって牧場を駆け回り、とても楽しそうでした。「福島の子と仲良くなり、友だちができたことが嬉しかった!」との感想を三重のお子さんからいただき、企画した私たちも嬉しく思いました。



#### ○フタバ食品見学会

アイスクリームや氷菓子を製造しているフタバ食品を夏休みに親子で見学しました。アイスクリームの歴史や製造工程などの説明を受け、工場ではかき混ぜない「できたて」をいただきながら学びました。



#### ○地主共和商會見学会

平飼いたまごの鶏舎の様子をDVDで紹介いただき、たまごのパック行程を見学しました。サイズ別に自動で振り分けられる様子や、採卵日のシールが貼られていく様子に大人も子どもも興味津々でした。お昼はおいしいたまごかけごはんの作り方を教わり、みんなで新鮮たまごを味わいました。



### 商品・くらしの活動交流会

「見てふれて確かめよう、私たちの自慢、生協商品」をテーマに、県下9会場で、組合員をはじめ延べ2015名の方々が参加しました。組合員と生産者・メーカーのみなさんが商品の試食などを交え、日ごろ聞きたかったことや伝えたかったことを直接話し交流しました。





漁獲量の減少や環境破壊に危機感を持った生産者が、海の生き物と、それを育む森を守る活動を行っています。

## コープの森づくり

### インドネシア マングローブの森づくり

環境負荷の少ないエビの「粗放養殖」ですが、養殖池を作る際にマングローブを伐採しています。より持続可能な養殖を目指してマングローブの植樹活動を開始し、2010年より植樹してきたマングローブも現在では豊かな林になっています。



#### 職員の声 松阪センター 田中友也

写真でしか見たことなかったのを実際に見ることができて良かったです。一番印象に残ったのはマングローブの植樹で、過去に植えた木々を見て活動の歴史を感じることができました。学んだことを仲間や組合員に伝えたいです。



### 北海道 野付のお魚を増やす植樹活動

野付の海を守りながら「育てる漁業」に転換し、資源管理や稚魚の放流に加え、森から海を再生しようと植樹活動に取り組んでいます。



#### 職員の声 津南センター 三原賢造

資源管理型漁業で持続可能な漁業の取り組み、サケやホタテの稚魚や稚貝を海に放流し自然に育つのを待ち漁獲する方法を行っています。「森と川と海はひとつ」「100年かけて100年前の自然な浜を」をスローガンに植樹活動を行っていることはとても素敵だと思いました。また商品の利用が、1点=1円の植樹資金になることも組合員へ伝えていきたいです。



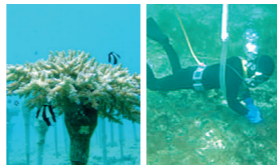
#### ○生協キッチン「浜の母さん料理教室」

野付漁協女性部・北海道漁連のみなさんにお越しいただき、「お魚を増やす植樹活動」やコープの森づくりについて学習し、野付漁協女性部のみなさんに教わりながら、さけのあら汁やミニちゃんちゃん焼、ほたてフライ、ほたてご飯などを作りました。



### 沖縄 恩納村の里海づくり

サンゴを保護、再生、増やすことで海域の環境・生態系を整え自然再生を促す活動を積極的にすすめ、里海づくり活動に取り組んでいます。



#### ○生協キッチン「恩納村海人の料理交流会」

沖縄の豊かな海が地球温暖化の影響で、サンゴの白化現象を引き起こしています。そこでコープみえは、サンゴの植え付け活動を毎年すすめています。海人の料理交流会では、恩納村漁協のみなさんからサンゴを守る「里海づくり」のお話や、里海でのもずく養殖、加工までの大変な作業のお話を伺った後、もずく天ぷら、もずくと筍の酢きりまぜご飯、などを作りました。



#### 参加者の声

- ・もずく料理の幅が広がりました。
- ・生産者の方々の努力に感謝です。

## 検査センターの取り組み



東海コープ商品検査センターでは、組合員からの出資金をもとに検査体制と検査設備、検査項目の充実を図っています。生協で企画している商品の指標微生物や残留農薬、食品添加物、放射性物質などの検査を実施し、安全品質を確保する取り組みをすすめています。

■【報告日】2018/03/21～2019/03/20

検査分野	総計	適合率
微生物	9396	94.6
残留農薬	275	99.6
食品添加物	193	99.5
アレルギー	286	100
残留放射性物質	141	100
その他検査	247	問題なし

人や環境に優しく、誰かの笑顔につながる消費をすすめています。

## エシカル消費の取り組み

### ディルマ紅茶スクールバッグ提供支援プロジェクト

組合員が利用した収益の一部(1点購入で1円積み立て)を活用して、スリランカの小学校入学児童にスクールバッグを寄贈する取り組みをすすめました。2019年1月から小学校に入学する子どもたちへ、スクールバッグ79個が手渡されました。子どもたちはスクールバッグを受け取ると笑顔を輝かせていました。



### コアノンスマイルスクールプロジェクト

2010年から「CO・OPコアノンスマイルスクールプロジェクト」を実施しています。このプロジェクトは、トイレトペーパーの収益の一部(1点購入で1円積み立て)をユニセフを通じて、アフリカのアンゴラ共和国で「子どもにやさしい学校づくり」を支援するために使われます。



### うなぎ資源対策協力金の取り組み

ニホンウナギは、シラス資源減少から2014年6月12日のレッドリストにて「絶滅危惧種1B類」に指定されました。国産ウナギを継続的に利用できるように、2017年度より鹿児島県ウナギ資源増殖対策協議会と2018年度より地元産(愛知、三河一色)の愛知県養鰻漁業者協会へ寄付する取り組みを行っています。ウナギ対象商品1点購入で3円の寄付金とし、集まった寄付金は、うなぎ放流活動等の資源対策の活動につながっています。

18年度寄付総額  
(東海3生協)

351,324円



### 環境にやさしい商品利用の取り組み

持続可能な生産に配慮されたコープ商品の取り扱いをすすめています。

一森の資源を守るFSC認証商品、水産資源のMSC認証商品—

#### ○FSC認証

ティッシュは責任ある森林管理をしている林業者を支援し、世界の森林保全貢献につながる商品です。原料原産地の森林や土壌、水を守る商品の利用をすすめています。



#### ○MSC認証

さばのみぞれ煮は水産資源を枯渇させないよう、漁獲量や漁法・漁の時期、生態系などに配慮した漁業で獲られた商品です。持続性と環境に配慮した水産物の利用をすすめています。



一環境保全につながる商品—

#### ○レインフォレスト・アライアンス認証

紅茶ティーパックは農園の家族、野生生物、環境に利益をもたらす方法で栽培されています。労働や地球環境に配慮した商品の利用をすすめています。



#### ○オーガニック・有機栽培

ルイボスティーは一定の基準で農薬や化学肥料を使用しないで作られた商品です。



#### ○CFP・カーボンフットプリント

セフターは商品の原材料の調達・製造から廃棄リサイクルまでのすべての過程で排出される二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)の量を表示しています。



セフターENERGY (エナジー) 抗菌・防臭/つめかえ用



9月に松阪農業公園ベルファームで開催された環境フェスタでは、エシカル商品のPRを行いました。

エコファミリー活動や森の保全活動などに取り組み、地球温暖化の対策を行っています。



## 環境活動寄付金贈呈式&環境団体交流会

コープみえは、環境活動に取り組まれている市民団体や学校関係、障がい者施設を対象に寄付をお送りする取り組みを行っています。2018年度は42件の申請をいただき、9団体に556,515円の寄付を贈呈しました。環境活動積立金からの拠出を基本に、組合員さんから回収している牛乳パックの回収収入を活用しています。



## 「夏のエコフェア2018」にコープみえが出展

体験や展示などを通じて環境について楽しく学ぶ「夏のエコフェア2018」が開催され、コープみえが出展しました。コープみえのブースでは、沖縄恩納村の里海づくりの紹介と間伐材を使ったマイ箸づくりの体験コーナーを設置。木をカンナで削ることが初めての子どもたちがほとんどで、真剣な眼差しで作っていました。



## エコファミリー

エコファミリーは、組合員が家庭や身近な場所で取り組める環境活動として、500人を超える組合員が登録しています。自宅で環境に配慮した取り組みを実施し、CO<sub>2</sub>排出量削減などが見えるように記録を付けます。また毎月「エコファミリー通信誌」を登録組合員にお届けし、組合員どうしの情報交換を行っています。

エコファミリー登録人数		
16年度	543人	年度末
17年度	544人	年度末
18年度	538人	年度末



## コープみえの森づくり

コープみえは津市美杉町の山林で植樹活動を行い、コープみえの森を育てています。この森を活用し環境の大切さを学べる場となるよう取り組んでいます。

3月に「木の工作や飯ごう炊飯などの体験を通して楽しく森の環境について学びましょう!」企画が開催され、過疎化や林業の担い手不足など中山間地が抱える問題のお話や飯ごう炊飯、木工体験を通じて森や木の大切さを学びました。



### 参加者の声

木を育てることは、手入れが必要なことを初めて知りました。山の木があることで、いかに助けられているか。水や土、酸素は生きていく上で必要不可欠です。また、海の魚にまで影響を与えるとは驚きでした。

## エコ川柳

エコ川柳は、家庭や身近な場所で環境保全活動をすすめるエコファミリーメンバーの組合員から寄せられました。



- 自転車で エコと筋トレ 見まわりも
- 運転は ふんわりアクセル 忘れずに
- 湯たんぽで 布団も体も あたたまる
- 電気よし 指さし確認 我が娘
- 残り湯も 洗濯 掃除 水やり
- 毎月の 電力明細 ふりかえる
- 重ね着と 三首あたため 冬すごす
- 買物は 徒歩にて 帰路はカート引き

ISOの取り組みをすすめ、CO<sub>2</sub>排出量等の削減やリサイクル、廃棄物削減を行っています。

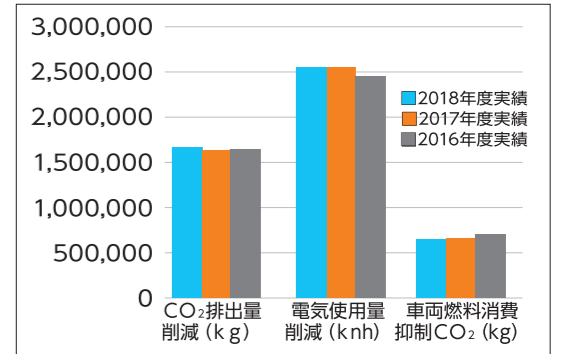
## ISOの取り組み (EMSの活動)

### ○環境活動パフォーマンス報告、品質活動の報告

コープみえは、ISO14001規格に基づき環境負荷低減の取り組みを行なっています。また、組合員や地域・諸団体とともに、生物多様性保全、地球温暖化防止に向けた環境活動をすすめています。日常的な省エネ活動や、夏場のエコスタイル、室温の温度管理、ノー残業デーやライトダウン(照明の消灯)の実施に取り組みました。

### ◆CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた環境負荷低減の取り組み

	2018年度実績	2018年度計画	計画比	2017年度実績	2016年度実績
CO <sub>2</sub> 排出量削減 (kg)	1,686,788	1,645,091	102.5%	1,663,777	1,668,518
電気使用量削減 (kwh)	2,591,931	2,521,934	102.8%	2,521,246	2,463,245
車両燃料消費抑制CO <sub>2</sub> (kg)	693,215	680,438	101.9%	699,059	725,528



### ◆リサイクル、廃棄物削減などの取り組み

\*共同購入事業では、商品案内やカタログ、OCR注文用紙、卵パック、保冷箱の内袋、牛乳パックなどを回収し、リサイクルやマテリアルリサイクルを行なっています。商品案内書の回収は、前年より183t増えて2,228tとなりました。内袋の回収は、前年より7.8t増えて43tとなりました。  
\*店舗では、ペットボトル、飲料缶類、トレー、牛乳パックなどの回収を行なっています。  
\*夕食宅配事業では、弁当箱のリユースを行ない回収率はほぼ100%となっています。

### ◆環境にプラスとなる活動や取り組み

\*地球温暖化防止の推進と循環型社会の構築を充実させる行動として、店舗のある松阪市、伊勢市と協定を結びレジ袋削減に取り組み、収益金を地域の環境保全活動に使用しています。レジ袋辞退率は約95%となっています。  
\*CO<sub>2</sub>排出量削減を目指し、職場でのノー残業デーやライトダウン(照明の消灯)の実施、内部印刷・紙の削減、グリーン購入の推進などに取り組みました。  
\*カーボンクレジット2tを購入し、CSRレポートや環境活動団体交流会の排出CO<sub>2</sub>をオフセットしました。  
\*機関会議の資料をタブレット端末へ配信したり、連絡事項を掲示板で案内、もしくはメール配信にして事務用紙削減に取り組みました。



### ◆産業廃棄物委託業者の施設視察の実施

廃棄物処理法三重県産廃条例に基づき、コープみえが委託している3業者の処分場、処理能力等の視察を実施しました。点検項目に沿って、不適合がないことを確認しました。



### <対象産業廃棄物委託業者>

株式会社 司、有限会社 三功、株式会社 ワトワメディカル

### <主な点検項目>

(管理)

許可書の確認	マネジメントシステムの取得状況	リスク管理 第三者賠償責任保険、環境保険などへの加入	免許・資格一覧表での整備
従業員教育	作業着・安全帽・保護具の着用	安全管理の手順書	緊急事故時のマニュアル、対策
安全運転教育の実施	廃棄物収集運搬		

(施設)

看板の設置	囲いや施錠	地下浸透防止	作業を屋内でおこなう状況
雨水の管理	飛散防止	不適合品の管理	

## エコセンターの紹介

エコセンターは、2016年に稼働し、コープぎふ・コープあい・コープみえと東海コープで、循環型環境社会の実現への貢献をめざしてリサイクルを推進しています。支所・センターで回収している使用済みの商品案内やたまごパックを集積・圧縮して、環境資源として出荷しています。



### 3 世界から飢餓や貧困をなくし、子どもたちを支援する活動の推進



誰一人取り残さない世界をめざして、世界が抱える問題や地域の課題解決の活動をすすめています。

#### ユニセフ募金

コープみえの組合員、県内の諸団体のみなさんとともに手を携え「ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金」(三重県ユニセフ協会)に取り組みました。今年のテーマは「すべての子どもに5歳の誕生日を」。11月～12月にかけて県内9箇所で開催され、募金会場では組合員を中心に、世界の子どもたちに笑顔が届くように募金の呼びかけが続けられました。また、ユニセフお年玉募金にも取り組み、世界の子どもたちに笑顔をとどけています。



©UNICEF\_UN0149891\_Dejogh

#### ハンガーフリーワールド

ハンガーフリーワールド(HFW)は、飢餓のない世界を作るために活動する国際協力NGOです。2018年度「書き損じハガキ回収キャンペーン」では、コープみえの組合員から年賀状の書き損じや未使用ハガキ、その他の回収品を換金し、バングラデシュ(南アジア)、ベナン・ブルキナファソ・ウガンダ(ともにアフリカ)の住民が自立できるように支援活動などを行い、役立ちました。



©Hunger Free World



#### 2018年度募金および換金総額

ユニセフ募金 (2019年3月20日現在)	ハンガーフリーワールド 換金額
1,113,431円	3,736,262円

#### 生活困窮者支援活動

##### ○社会福祉協議会と生活困窮者支援協定の締結

コープみえでは生活困窮者支援の協定を、伊勢市・鈴鹿市、四日市社会福祉協議会と締結しました。

協定は、コープみえが取り扱う食品等(キャンセル商品や在庫商品等)を無償で寄贈することにより、食品等の有効活用を実現するとともに、生活困窮者支援等の地域福祉活動に寄与することを目的としています。



四日市社会福祉協議会との協定締結式

##### ○フードバンク

規格外の農産物や賞味期限が短くなった商品をセカンドハーベスト名古屋と協力して、支援を必要としている児童養護施設やご家庭などに無償で提供する活動をすすめています。



#### 子育て・子育てサポート

##### ○子育てひろば

コープみえの子育てひろばは、子どもたちを遊ばせながら情報交換したり、おしゃべりを楽しめる憩いのスペースです。桑名・鈴鹿・津南・伊勢センターで開催しています。



##### ○FM三重はぴはぴ子育て「子育てコープ」

FM三重「子育てコープ」は2016年4月にスタート。視聴者のみなさんへ子育てを楽しめる番組をめざしています。



##### ○子育てサポート講座

子どもが主体で、子どもが自らの力で心身ともに成長していく力を育てる環境づくりには、日常生活での大人の関わり方がとても大切ということを学ぶ「子育てサポート講座」が県内5会場で開催されました。



#### 参加者の声

子ども自身が身心共に成長する力を持っている「子育て」の考え方。子どもの話を聞くことの大切さを改めて感じました。

### 4 核兵器廃絶と世界平和の実現をめざす活動の推進



「核なき世界」の実現をめざし、核兵器や戦争のない平和な社会をめざす取り組みをすすめています。

#### ハート平和行進

核兵器廃絶の願いを一つに寄せあいヒロシマへと歩みをすすめるハート平和行進が行われ、約160名が津市内を行進しました。



#### 2018ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ

2018ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキに組合員、職員が参加しました。式典への出席や被爆者の証言を聞き、碑めぐりや資料館を見学しました。



#### 職員の声

松阪センター 須藤拓真

被爆者の方々の証言では、実際の体験を通じてのお話から原爆の非人道性、悲惨さに大変ショックを受けました。今回の体験を通して学び、感じた思いを周りと次世代に伝えていくことが私の役割です。



#### 牛乳パックでつくる第五福竜丸・伊勢と第五福竜丸のお話

子どもたちに牛乳パックで第五福竜丸を作ってもらいながら、第五福竜丸が迎った運命、水爆実験の「死の灰」を浴びた乗組員と船とビキニ環礁に住んでいた人々の被害の実相などを学びました。



#### 沖縄戦跡・基地めぐり

「第35回沖縄戦跡・基地めぐり」が3月に開催され、コープみえから役員が参加しました。



ガマに入る参加者

#### 職員の声

津南・津宅配センター 田中 浩

沖縄でこのような激戦が行われ多くの沖縄県民が亡くなられたこと、その戦争の中での様々な衝撃的な事実など、今の自分の生活からは考えられないことばかりでした。沖縄は同じ日本ではありますが、遠い離島ということで自分自身も他人事と思っていることも実感しました。今の自分に何が出来るのかは見いだせてはいませんが、沖縄戦の歴史の事実、基地問題の現状などを知ることができました。



#### 憲法を学ぶ講演会「けんぽうと私たちの未来」開催

絵本「あなたこそたからもの」の著者 伊藤 真弁護士による憲法講演会「けんぽうと私たちの未来」を開催しました。「私たちは政治や憲法に関心であっても、無関係ではられない。憲法は何のために、誰が守るものなのか。国民一人ひとりが自らの意志で判断することが大切」とお話しくださいました。



#### 参加者の声

今までは「憲法」は学校で習ってからあまり深く考える機会がなく、難しいイメージでした。今日の講演を聞いて、とてもわかりやすく、今後1つ1つ物の見方を深く考えていくことができるようになれそうです。

## 5 ジェンダー平等(男女平等)と多様な人々が共生できる社会づくりの推進



女性も男性も、誰もが元気にイキイキと、生きがいをもって働き続けられる生協づくりをすすめています。

### 職場環境の改善、改善活動・ダイバーシティの推進

#### イキイキ職場実行委員会

一人ひとりの違いをお互いに尊重し合い、くらしを充実させ、誰もがイキイキと働ける職場を職員全員で作りに上げていく活動がすすんでいます。3つのチーム(Project Communication2018、ロンパケ、Woman◎power)の報告会が開催され、昨年末から取り組んできた各チームの活動紹介や反省点などが報告されました。また、包丁を使わないクックチャレンジ企画やスポーツ大会、お花見きましょう会など楽しい交流もすすみました。



スポーツ大会の様子



お花見会の様子

#### 労災事故発生件数の推移

2011年	15件
2012年	11件
2013年	3件
2014年	8件
2015年	5件
2016年	8件
2017年	11件
2018年	9件

## ワークライフバランス

#### くるみん認定

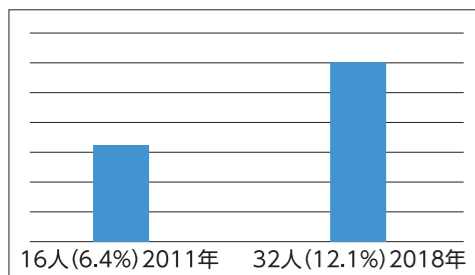
コープみえが「子育てサポート企業」として認定を受け、「くるみんマーク」を授与されました。一般事業主行動計画に定めた計画を達成し、一定の基準を満たした企業を厚生労働大臣が「子育てサポート企業」として認定します。

適正な行動計画を策定し目標を達成したこと、男性職員の育児休業取得率、女性職員の育児休業取得率が基準を上回っていたこと、またフルタイム労働者の時間外労働の平均時間が基準を下回っていたことなどが認められました。

コープみえ次世代育成支援行動計画  
一般事業主行動計画(第4期):2017年8月1日~2022年3月31日  
<目標1>計画期間内の男性職員の育児休業取得率が70%以上にします。  
<目標2>すべての職員が働きやすい職場風土を醸成するため、ワークライフバランスの理解促進、固定的性別役割分担意識の是正に関する研修を実施していきます。  
<目標3>2021年度の有給休暇取得率を、対2016年度比で10%向上します。



#### 女性職員比率の推移(定時職員以外)



女性職員の比率は、2011年との比較で倍増しました。

#### 育児男子学び合いトーク

県内で働く男性職員が職場や組織の枠を超えて仕事と家庭の両立について話し合うイベント「育児男子学び合いトーク」が開催されました。コープみえからは、平野勇次さんが参加し、鈴木英敬知事や県内に勤務するイクメンのみなさんと、仕事と家庭の両立について語り合いました。



#### 職員の感想 鈴鹿センター 平野勇次

担当する組合員さんや職場のみなさんにも育児の様子や取り組みを伝えたいです。



## 採用活動

#### 1day インターンシップ開催

学生インターンシップ参加者を募集し、集まった学生のみなさんに生協のさまざまな活動に参加いただきました。2018年度のインターンシップは夏期、冬期で行い、夏期は4日間のスケジュールでメーカー・生産者訪問、トラック同乗体験、調理交流会等を行いました。



## 6 誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりへの参加



自治体や諸団体の連携を大切にしつつ、生協の事業や活動のインフラを活用し、役割発揮をすすめています。

### 地域見守り活動・支援活動、事業

#### 各地で見守り協定締結

高齢者・障がい者・子どもなど誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまちづくりを目的に、各市町と見守り協定が締結されました。

コープみえ職員が配達などの業務中に何らかの異変に気づいた場合、地域の一人として行政、諸団体の皆様と一緒に見守り活動をすすめています。

#### 協定締結市町一覧

四日市市	度会町
津市	東員町
名張市	明和町
松阪市	伊勢市
桑名市	鈴鹿市
亀山市	尾鷲市



鈴鹿市との締結式

#### さんきゅう食堂

10月に開店した「さんきゅう食堂」は、羽津地区まちづくり協議会のみなさんと、コープみえの四日市エリア会が運営しています。独居、個食等の方が定期的に大勢の方と食事を楽しんでもらう場を提供し、引きこもり等から外出する機会の提供を行うことを目的に活動が始まりました。



#### 子ども110番の活動

地域や子どもたちの安全を願い、2006年より「子ども110番」の活動を行っています。特に共同購入事業は、毎週1回、月曜日から金曜日の決まった曜日と時間に同じ担当者が商品をお届けしています。地域をよく知り、組合員や地域のみなさんと直接お会いする機会が多いという特長を生かして、地域の防犯活動に少しでも力になれるよう行動しています。



#### ほほえみ制度 赤ちゃんサポート・免許返納サポート

宅配手数料の無料や減額ができる「ほほえみ制度」の赤ちゃんサポートと免許返納サポートの宅配手数料無料が好評で、これまでに赤ちゃんサポート(6,099人)、免許返納サポート(1,035人)が利用され、お役立ち度がアップしました。



#### 利用者の声

70歳になった機会に免許証を返納。宅配を利用するようになって重いものも運んでもらえるので助かっています。

#### 夕食宅配事業・葬祭事業・宅配灯油

組合員の要望を受けて、配達エリアの拡大や祝日配達、週4日配達などのサービスが充実し、1日約2,600食をお届けしています。また、見守り活動として、ご利用者の緊急連絡先をあらかじめ登録していただき、異常があった場合は指定の連絡先に確認しています。

葬祭は、「まどか」ご利用で組合員特典が受けられます。宅配灯油は、自宅まで配達し、スタンドまで行けない高齢者の方などに喜んでいただいています。登録が必要です。



#### スマイルサービスみえ 暮らしの便利屋さん

誕生して2年が経った「(株)スマイルサービスみえ」の暮らしの便利屋さんには、リピーターや紹介で依頼される方が多くなっています。草刈りなどの庭の手入れや網戸の張り替え、自転車のパンク修理、水道の水漏れ修理、大きな家具の移動などお困りごとに対応し、喜ばれています。



発災時から被災者の皆さんに寄り添い、息の長い支援活動をすすめています。

## 東日本大震災支援活動

### 福島復興公営住宅のふれあいサロン訪問、つながりカレンダーのお届け

福島の復興公営住宅のふれあいサロンに7月と9月に訪問し、交流を深めてきました。また、12月には福島で避難生活を続けてみえる方に少しでも元気になっていただけるように組合員や職員から寄せられたイラストやメッセージを卓上カレンダーにして復興公営団地でくらすみなさんへお届けしました。つながりカレンダーの取り組みは今回で7回目となります。イラスト作者である組合員親子も参加しました。



### コヨットin三重 「福島の子もたちをお招きする保養企画」を開催!

福島県の小学生の親子を三重県にお招きして、屋外での遊びを安心して楽しんでもらう保養企画を開催しました。この企画も12回目となりました。



### FOR子ども支援基金 ~広域避難の子どもたちの夢の実現を~

名古屋市に拠点を置く、認定NPO法人レスキューストックヤードが中心となって、東日本大震災および東京電力福島第一原発事故により、愛知・三重・岐阜に避難している18歳未満の子どもたちを対象に、子どもたちが夢を叶えるために必要としている学用品や楽器、スポーツ用品等を贈呈しています。

コープみえはこの取り組みに賛同し、組合員のみなさんから寄せられた東日本大震災復興支援募金を活用し、寄贈品の購入資金の一部として毎年10万円の協賛を行っています。



災害時の支援活動など、生協の事業や活動のインフラを活用して取り組んでいます。

## 災害の取り組み

### 災害時における支援協力に関する協定締結

大規模な地震、風水害などが発生した場合に、市町からの要請を受けたときは、コープみえは供給品を優先して供給するとともに、搬出に関し積極的に協力する協定に締結しました。

協定締結市町

津市	尾鷲市
----	-----



津市との調印式

### CO・OP 火災共済

自然災害が多く、被害規模も大きかった2018年。CO・OP火災共済は、共済金支払件数も資料請求・お問合せも例年になく増加しました。中でも台風21号請求件数は、339件、お支払い共済金額は、37,296,991円となっており、大切な住まいの保障のお役立ちができました。

火災共済 共済金支払の状況  
【コープみえ保有契約分】  
支払期間: 2018/4/1~12/31

災害項目	件数	支払共済金(円)
総額	577	61,467,156
2017年台風21・22号	10	477,920
2017年大雪	9	531,572
2018年台風12号	52	5,237,573
2018年台風20号	38	4,638,300
2018年台風21号	339	37,296,991
2018年台風24号	80	6,936,150
2018年台風25号	2	393,000
2018年大雪寒波	24	4,373,050
火災	2	549,700
車両	4	42,000
突風	7	972,500
落雷	2	18,400
過去案件対象外	8	0

(全労済三重県本部 提供)



#### 職員の声

共済推進課 桃木 弘美

『家への備えは、実際に自然災害などが起こると意識が高まる傾向にある...』と感じた年でした。火災共済に関心をもってくださる組合員が増えたということは、生協に火災共済があることを知っていただきつつある証拠だと思います。さらにご満足いただける保障内容となるよう、様々な改善の余地があることも感じています。



## 安全運転の取り組み

「安全を第一に考える人づくり」をめざし、安全トレーナー会議の開催や交通事故防止運動の取り組み、交通安全フェスティバルの参加など、安全運転の啓発、教育をすすめました。

### 優秀安全運転事業所としてプラチナ賞を受賞!

三重県内で運転記録証明を取得した事業所は250ヶ所あり、その中で過去3年間にわたり交通事故の防止に貢献したことが三重県警察ならびに自動車安全運転センターから評価され、優秀安全運転事業所としてプラチナ賞を受賞しました。

#### 交通事故発生推移表

年度	発生件数
2013年度	78件
2014年度	67件
2015年度	55件
2016年度	64件
2017年度	95件
2018年度	84件



### 「鈴鹿市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」に参加

「鈴鹿市災害ボランティアセンター設置・運営訓練」は、大規模災害発生時に災害ボランティアセンター本部設置・運営を円滑に行うとともに、災害ボランティアセンターサテライトとの連携体制の確認をすることを目的に実施されました。マグニチュード8.0の地震が発生したことを想定して、行政機関や関係機関・諸団体と連携して訓練ができました。



### 尾鷲市巨大津波対処関係機関 合同訓練にコープみえも参加

尾鷲市や三重県をはじめ様々な関係機関、諸団体、尾鷲市の住民の皆さんなど31の機関、約250人が参加した大規模な災害訓練にコープみえも参加しました。

訓練では、コープみえのトラックを使用した陸路による支援物資の搬送訓練として、支援物資の積み込み、避難所への搬送と集積を地域のみなさんと協力しながら行いました。



### 緊急支援募金の取り組み

コープみえでは、大きな被害にみまわれた方々への緊急支援募金として、共同購入や店舗などで募金の取り組みをすすめました。

- 西日本豪雨災害 緊急支援募金 7,552,640円
- 北海道地震災害 緊急支援募金 5,103,542円



### 西日本豪雨災害支援

みえ災害ボランティアセンターからの要請を受けて、ボランティアバスへの支援として飲料水の提供を行いました。また、職員がボランティアとして被災地に行き、活動に参加しました。

#### ボランティアに参加した職員の声 鈴鹿センター 岩島 聡

町の1/3が冠水し被害の大きかった倉敷市真備町に行きました。今回はボランティアセンターで資機材係、トイレ掃除から手洗い用の水汲み、車両整理、誘導などを担当しました。土、日は多くのボランティアの方がみえます。毎日ミーティングを行ない、被災者の方々のニーズの変化に応えられるよう意見を出し合いました。





## 6 誰もが安心して暮らし続けられる地域社会づくりへの参加



組合員に寄りそった相談窓口や地域に根ざした組合員活動をすすめています。

### くらしの安心

#### コープくらしの相談窓口

「コープくらしの相談窓口」は開設から1年半が経過する中、ご高齢な組合員やそのご家族からの相談が大半を占めています。相談内容は様々ですが、一つひとつの相談ごとには相談者にとっての一番の困りごとと思われ「福祉の視点」を大切に丁寧にお応えしてきました。

#### 担当者から

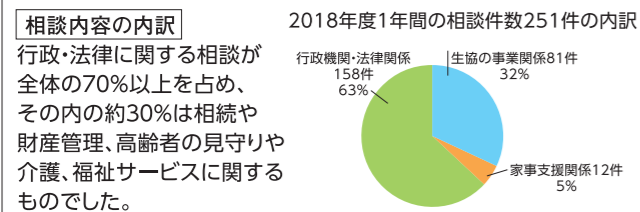
相談業務に携わり、組合員の中には家族や親族間の問題で誰にも言えずに心を痛めている方や、日常的な困りごとを抱えている方も多くいます。実感しました。「相談して良かった・楽になった」という声を沢山いただく中で、組合員さんのお気持ちを受け止めて、生協として何が出来るかを考え業務をすすめています。



#### 相談者の声

些細なことで、どこに相談すればいいかわからず悩んでいましたが「くらしの相談窓口」の開設を知り電話しました。複数の専門機関を紹介いただいたのも助かりました。

相談件数	相談内容
251件	医療や介護保険、年金等の手続き方法や土地の相続、近隣トラブル等



#### 消費者市民ネットワークみえ設立総会

三重県の消費者団体、専門家、実践者などが消費者問題にかかり、つながって活動していくことを目的として、「消費者市民ネットワークみえ」が設立されました。コープみえも設立総会に参加し、消費者被害の防止をはじめ、自立した消費者になっていくための啓発など、互いに協力しあって活動しています。



### 組合員活動

#### エリア会

エリア会は理事会とつながって活動しています。消費者問題やユニセフ活動、地域の高齢者支援活動などくらしの問題解決やくらしの向上をめざした活動をすすめています。



#### LPAの会 (ライフプランニング活動)

LPAの会は、「保障の見直し活動」をすすめる専門家として、学習会、個人相談の企画・運営および講師・相談役として活動しています。さらに保障の見直しにとどまらず、ライフプラン全般の学習・活動をすすめています。



#### 企画紹介

- \*子どもの手当て&ママのリラクゼーション
- \*家計の見直し ここがポイント
- \*相続のいろは \*生命保険の見直し学習会
- \*エンディングノートに関わる学習会
- \*おこづかいゲーム
- \*こんなにかかる教育のお金 \*はじめての確定申告

### 組合員のつながりの活動

#### ○エリアコーディネーター活動

県内のエリア毎に、くらしの視点から、組合員の関心に基いた企画を自主的に開催しています。「牛乳パックで作る鯉のぼりのお寿司」子どもの日の企画として、松阪のエリアコーディネーターが企画・開催しました。



鯉のぼりのお寿司づくり

#### ○グループ活動

地域で5人以上の組合員が集まり、商品や環境、福祉などをテーマに楽しい活動をすすめています。「親子リバーウォッチング」環境グループ(委)が7月に恒例の名張川「親子リバーウォッチング」を開催。さまざまな川の生き物を観察し、環境について学習しました。



リバーウォッチング

#### ○テーマ活動

3人以上の組合員が集まり、各々が関心のあるテーマを決めて半期単位で活動をすすめています。

## 7 健康づくりの取り組みをひろげ、福祉事業・助け合い活動の推進



人のつながりを大切に、食と健康、福祉事業、助け合い活動を行っています。

#### 食育講習会～食で育む心と体と生きる力～

食育は、知育・徳育・体育の基礎…。名古屋市短期大学保育科教授の小川先生を講師に、食育の基礎を学びました。食育が子どもの成長に大切な要素であることをお話いただきました。



#### たべる\*たいせつ・キッズ料理会

エプロン姿の子どもたちは、キッズサポーターに教えてもらいながら、お米を炊き、旬の野菜のお味噌汁、お漬物、デザートを作りました。



#### 参加した子どもたちの声

- ・じゃがいもを切るのが難しかったけど、ちゃんとできた。
- ・自分で作ると美味しいね。
- ・料理は難しいと思っていたけど、簡単だったのでお家でも作りたい。

#### 園児の買い物体験

みやがわ店で、近くの保育園『ゆりかご園』の園児が「お買い物体験」をしました。園児たちは、先生と相談しながら180円までのお買い物を楽しみました。



#### 視覚障がいの方に音声カタログ説明会を開催

視覚障がいをお持ちの組合員さんにも便利にe-フレンズをご利用いただけるように、三重県視覚障害者支援センターにて、生協の音声カタログ説明会を行いました。視覚障がいをお持ちのみなさんに音声カタログの機能を使ってみながら説明し、実際に音声カタログを使っていただき質疑応答も行いました。



#### 参加者の声

今まで娘に注文してもらっていたけどこれなら自分で注文できます！

### 福祉事業

#### 福祉サービスセンター松阪 ふれあい祭り

今年で5回目となった「ふれあいまつり」は、あいにくの天候ながら204人ものご近所や地域の方々に来場いただきました。「職員の丁寧な対応に感謝」とのアンケートや来場された方が笑顔でお帰りになれる姿に、来年も笑顔でご近所や地域の方々をお迎えできるよう、心新たにしたい一日でした。



#### 生活リハビリ講習会

毎月第1土曜日に、組合員や近隣地域の方々を対象に生活リハビリ講習会を開催しています。内容は作業療法士による生活に必要な身体の動きや体操を中心に、肩こり、腰痛予防体操を行っています。



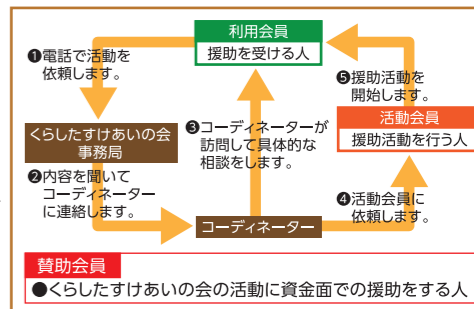
### くらしすけあいの会

2003年に有償の福祉活動としてスタートした「くらしすけあいの会」。

高齢者や障がいのある方、産前産後や子育て家庭、病気やケガなど困った時のくらしの援助を行っています。困った時はお利用会員と一緒に草刈りの活動中互いさまの気持ちで、介護サービスでは対応できないこと、子育て中のお母さんの心のよりどころにもなっています。



利用会員と一緒に草刈りの活動中



#### 利用会員の声

大きなケガと大病を患い、どうしても身体に制限がかかることを応援してもらっています。くらしすけあいの会の利用は、1時間単位で依頼できるので勝手がいいんです。

## 顧客満足・業務品質向上の取り組み・コープみえの内部統制システム

コープみえは、ISO9001:2015版/14001規格にもとづき品質・環境マネジメントシステムを構築し、「品質・環境方針」にもとづき組合員満足、業務品質向上や環境の活動をすすめています。また、内部統制システムにもとづき機関運営や業務執行を行なっています。

### 顧客満足の取り組み

活動のテーマ	主な取り組みと成果	評価
共同購入の利用者、店舗の来店者、夕食宅配弁当の食数、宅配灯油登録者数の増加、葬祭依頼件数の増加	共同購入事業の利用者人数、店舗事業の来店者数の確保を目標として取り組みました。店舗の来店者数は目標を達成しました。夕食宅配弁当の食数と宅配灯油の登録人数、葬祭の依頼件数は目標を達成しました。夕食宅配はエリア拡大が進みました。また利用者の要望に応え、祝日配達や希望配達曜日(週4日)の実施、新規献立の導入を実施しました。	
店舗陳列商品の賞味期限切れや価格表示間違いをなくす	「賞味期限切れ商品削減」「価格表示の間違い削減」の取り組みは、まつさか店、みやがわ店の両店で目標を達成しました。	
通所介護施設での介護事故や訪問先での物損事故をなくす	通所介護施設(デイサービス)での介護中の事故ゼロ、訪問先での物損事故ゼロを目標として取り組みましたが、利用者様宅で利用者が転倒する、という事故がありました。事故事例を共有し、確認作業、手順の見直しを図り対応しました。	
テーマ活動への参加組合員を増やす	組合員どうしのつながりやテーマを決め楽しく交流していただく「テーマ活動」への参加者を増やす呼びかけを行ない、今年度は計画を上回る468組(3/20現在)の参加がありました。	

### 業務改善の取り組み

活動のテーマ	主な取り組みと成果	評価
ヒヤリハットの抽出や事例の共有化	日常業務をすすめる中でヒヤリハットの抽出をし、事例の共有化と予兆への予防対策を実施しました。今年度は高齢者の利用に対する悩みについて、相手の気持ちになって話し合いました。	
安全意識を向上し事故抑制、労災事故の削減	職場トレーナーの訓練、運転認定未保有者の教育訓練を実施し、安全意識を向上し事故抑制をめざし取り組みましたが、84件の事故が発生しました。労災事故においては昨年を下回る9件の発生となりました。	
男性職員の育児休業取得	男性職員の3日間連日の育児休業取得をすすめました。対象者3名のうち、2名が育児休業を取得しました。	
安否確認システムを活用した訓練	安否確認システムを活用した災害時の安否確認や連絡、事業継続のための訓練を、職員全員(ゼネラル、ジョブ)を対象として一斉メール送信を行ないました(実践も含む)。85%以上の返信がありました。また、メールアドレスの不具合についてもメンテナンスをすすめました。	

## コープみえの内部統制システム

### コープみえの機関運営と組織、

#### 内部統制・マネジメントの取り組み

コープみえは、生協法をはじめ関係法令及び定款等に則った機関運営や業務執行の強化に努めています。

### 機関運営と組織

最高決定機関である総代会での決定にもとづき理事会、常務理事会で日常執行がすすめられています。理事会の執行を監事会が監査し、決算会計については、監査法人による外部監査を実施しています。

### 内部統制活動

2018年度内部統制システム推進の基本方針にもとづき、内部統制活動をすすめてきました。

基本方針	2018年度の主な取り組み
1. 理事及び職員の職務の執行が、法令及び定款などに適合するための体制を整備し、取り組みをすすめる。	・法令等の制定、改正の情報収集や遵守監視・確認を毎月開催される内部統制推進委員会で共有してきました。 ・職員ハンドブックを全職員に配布し、周知・徹底をはかりました。 ・コンプライアンス及びハラスメントの管理者研修会を実施しました。また意識調査アンケートを実施し、各職場で調査結果の共有とまとめを実施しました。 ・通報・相談窓口の周知と対応をすすめ、内部・外部の相談窓口に5件の相談がありました。
2. 生協の事業および財務の状況の情報開示、理事の職務執行に関わる情報管理を適切に行う体制を整備し実行していく。	・個人情報保護、機密情報管理の一般学習会を実施しました。 ・個人情報、機密情報の台帳メンテナンスや事故発生時の監視と対応をすすめました。 ・パソコン管理基準にもとづくセルフチェック等を実施しました。
3. 事業の遂行の障害や損失の要因となる「リスク」を管理し、損失予防や緊急事態に備える体制を整備し、実行していく。	・重要リスク評価と重点リスクの特定と対応計画を作成し、内部統制推進委員会で確認してきました。 ・管理者対象にリスク評価や対応、過度なお申し出対応に関わるリスク研修会を開催しました。 ・事故・ヒヤリハットの事例の集約と予兆への予防対策を実施しました。 ・災害マニュアル、避難マニュアルの整備やMCA無線、緊急時の連絡網の訓練等が実施されました。
4. 理事および職員の業務の執行が効率的に行われるしくみや体制を整備していく。	・2018年度の体制変更に伴い、規程集の更新、整備をすすめました。 ・内部統制に関するセルフチェックを実施しました。 ・ISO9001の運用のなかで、業務フローの見直しや業務改善等をすすめました。 ・内部統制の内部監査をMS内部監査と合同で、全部署で実施しました。
5. コープみえの関連する会社等における業務の適正を確保する体制を整備していく。	・関係会社管理規程にもとづき、関連会社となる(株)東海コープ安全運転センター、(株)スマイルサービスみえの月度の事業報告や総会への出席や対応をすすめました。
6. 監事監査および監査業務が実効的に行われる環境を整備していく。	・監事会と代表理事の定期懇談や経営組織監査を実施しました。

## 意見交換会とは

読者に伝わるCSRレポートとなることを目的に、第三者(コメンテーター)が発行前に読み、対話を通じて改善点などを述べる場です。これにより制作者だけの視点で発行される誌面づくりではなく、多様な視点も加わったCSRレポートとなります。

<意見交換会のコメンテーターについて>

「CSR検定」※の資格保有者男女5名。(年齢:30代から50代。所属:会社員、行政職員、社会福祉協議会職員、NPO法人代表など)

CSR有識者のコメントだけでなく一般市民(消費者)の立場からの意見も得られました。

※「CSR検定」とは、企業や組織や市民一人ひとりの倫理と持続性への「気づき」「理解」「決定」を促し、「サステナビリティ志向」を培う検定試験です。



## 主な意見

CSRレポートを読んだ参加者からは次のような意見がありました。

### 【好感が持った意見】

◇「コープみえSDGs行動宣言」(P3)の7つの取り組みに合わせた構成に、SDGsの17の目標(アイコン)を表記したことにより、どの目標に向けた取り組みなのかが明確になっている

◇ローカルからグローバルまで、さらには子どもから高齢者など多岐にわたる取り組みを実施するコープみえは、私たちの生活に欠かせない存在だと再認識できた

◇「参加者の声」や「職員の声」のコーナーがあることで情報にリアリティが生まれコープみえをより身近に感じる

◇「エシカル消費の取り組み」(P4)は独自性がある。商品の購入が寄付(スクールバックの購入支援や学校づくりの支援)につながることをイメージしやすい内容なのが良かった

◇各市町との見守り協定締結(P12)は人口減少社会の中、高齢化が進む地域で安心してくらすための仕組みであることがよくわかった

## 【今後に期待したい意見】

◇情報量が多いため、文字や写真が小さくなっているページ数を増やすことで豊富な情報と読みやすさの両立を期待したい

◇話題の掲載順が地域中心の取り組み紹介から、次の冒頭が世界の話へと続く唐突さを感じる  
例えば、紹介の流れを、地域→日本→世界のようにすることで徐々に広がり、スムーズに読めるのではと感じた

◇(消費者教育の視点から)「エシカル消費の取り組み」(P4)は素晴らしい取り組みなので支援(スクールバック購入・学校づくり)の実績を知りたい

◇認証商品の紹介(P4)は、認証の説明が主語だと商品の魅力が伝わらない  
商品(さばのみぞれ煮)を主語にして認証の紹介にすることで商品の魅力がより伝わるのでは?

◇「地域見守り活動支援活動事業」(P12)は独自性がある取り組みのひとつなので、その魅力を伝えるために利用する地域の人の声や制度活用の具体的な実績をもっと知りたい

## 【意見交換会後のコープみえへの期待】

◇地域の様々な分野に貢献していることをあらためて実感しました。地域になくはならない存在としてさらなる発展を期待しています。

◇想像以上に様々な活動をされているのに、まだ活動を知らない方が多いと思います。配布数を増やすなど知ってもらう機会を増やしていただくことを期待しています。

◇商品購入が、近くの、遠くの、さらには未来の誰かのためにしている取り組みをこれからも続けてください。

## まとめ

「基本理念」(P2)の実現に向け、国連が2015年に採択した「持続可能な開発目標(SDGs)」とコープみえの理念から「コープみえSDGs行動宣言」(P3)の7つの取り組みに合わせた構成は参加者から時代の流れにふさわしいという意見が多く聞かれました。また意見交換会の実施が有意義であると高く評価されました。

「広聴(第三者の意見聴取)」と「広報(CSRレポート発行)」の両方を行っていることで、組織の魅力を丁寧に伝えようとしていることがわかり、そのことで市民からの信頼(ファン)を得る機会になっていることを実感しました。今後もこのような取り組みを継続され、一般の方に活動を伝える機会となることを期待しています。

運営:CSRアドバイザー(「CSR検定」三重会場運営責任者)NPO法人Mブリッジ